



未利用資源の血管機能解析

工藤 利彩 Risa Kudo 法医学／講師

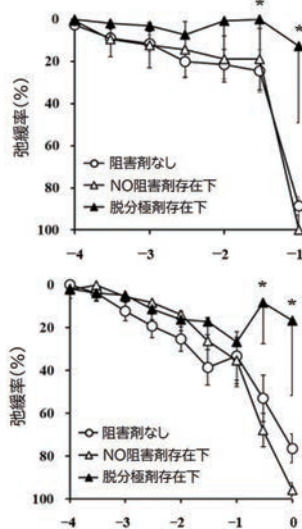
勇井 克也 Katsuya Yuui 法医学／助教



■キーワード 未利用資源、機能性食品、末梢循環、循環器疾患

シーズ概要

我々は、様々な未利用資源の循環器疾患予防効果を解明することを目的とし、ex vivo 研究に加え、疾患モデル動物を用いた循環動態の病態生理学的研究を行っています。その一例として、奈良県産の柿渋および柿葉に強力な血管弛緩作用と血管収縮抑制作用があることをラットの摘出血管を用いて実証しました (Kudo R, *Nutrients*, 89, 2022. DOI: 10.3390/nu14010089)。これらの作用機序は、既に用いられている循環器疾患治療薬と類似していることから、健全な血管のみならず、動脈硬化や高血圧などにより血管内皮細胞が障害された血管においても降圧効果を発揮できる可能性があります。このように、我々の研究は、動脈硬化、高血圧の治療薬や機能性食品の開発において、その効果の検証に大きく貢献できると確信しております。



研究成果の応用可能性

我々がex vivo 研究で使用している末梢血管は、様々な生理活性物質による複数の収縮・弛緩の機序が存在することが知られていることから、ターゲットとなる未利用資源や機能性食品がいずれの機序に関与しているかを網羅的に解析することが可能です。

Appeal Point

アピールポイント

特に循環器疾患の予防・治療への応用が期待されます。

関連文献／特許

<http://legalmed.naramed-u.ac.jp/index.html>

